

平成27年度10月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成27年10月7日（水）午前10時50分～午前11時40分

場所 市役所2階第1委員会室

出席 市政記者クラブ10社

会見内容

1. はじめに

- 先週末（10月3日、4日）に開催されたB1グランプリ in 十和田大会には「釧路ザンタレなんまら盛り揚げ隊」が初出展され、私も応援してまいりました。
- また、この度、株式会社モスフードサービス様より「釧路ザンタレバーガー甘酢たれ」が発売されることが決定いたしました。10月20日から12月上旬までの期間で、全国のモスバーガー店舗にて販売されます。
- モスフードサービス様では、「ご当地メニュー」に取り組んでいらっしゃるということで、平成24年には釧路発祥のご当地メニュー「スパカツ」をハンバーガーにした『スパカツバーガー』も販売していただいております。
- 今回の商品開発にあたりましては、モスバーガーチェーンの加盟店スタッフに「地元の名物」をキーワードにアイデアを募集し439件の中から、釧路店のスタッフの方が応募した「ザンタレ」が採用になったと伺っております。
- この度のモスフードサービス様の「釧路ザンタレバーガー甘酢たれ」は、「釧路ザンタレなんまら盛り揚げ隊」の監修、またB1グランプリ主催である「ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会」公認となっております。
- なお、10月20日の販売日には、モスフードサービス様と釧路ザンタレなんまら盛り揚げ隊の担当者の方が、販売報告に当市を来庁される予定となっております。この度の「釧路ザンタレバーガー甘酢たれ」により、全国の方に釧路のザンタレを知っていただき、これをきっかけに釧路への注目度が高まることを期待しております。
- もう一点、食の話題として、ブロンズ像友好都市・千葉県八千代市の梨の販売についてでございます。
- 八千代市とは、本市の幣舞橋と八千代市の村上橋に佐藤忠良（さとうちゅうりょう）様作のブロンズ像が設置されているご縁で、昭和57年から少年少女スポーツ交歓大会（野球・サッカー・ミニバスケットボール）を行ってまいりました。

- 折角のご縁でありますので、さらに交流を深められないかをご提案しましたところ、八千代市の名産品であります貴重な梨「新高」（にいたか）を釧路の皆様にもお楽しみ頂ければということで、昨年引き続き、釧路フィッシャーマンズワーフMOO内のトキワ青果店で本日から販売する運びとなりました。
- 今回、販売される梨は「新高共進会（品評会）」（にいたかきょうしんかい）で出品された、各農家さん選りすぐりの梨と伺っております。これを機会に多くの市民の皆様にお楽しみ頂けますことを期待しております。

2. 話題提供（4項目）

1. 市営住宅における子育て世帯の入居促進について

- 市におきましては、「次代の社会を担う子供たちが健やかに生まれ、育つための対策」といたしまして、「子育てを支援する生活環境づくり」に着手しているところでございます。その環境づくりの一環として、子育てをしている世帯や、さらに子供を産み育てたいとの希望を持つ世帯に対し、市営住宅を優先して提供するための取組を始めることといたしました。
- 具体的にどのようなことになるかと申しますと、市営住宅の枠組みに、新たに「子育て世帯向け住宅」を設け、空き家の中から一定数を確保し、子育て世帯の優先的な入居を可能とするものでございます。ここでの子育て世帯といたしましては、小学校入学前の子供を持つ世帯を対象とし、一番下の子供が18歳に達するまでの期間、入居をできるようにするものです。
- まずは、12月1日（火）から供用を開始する「鳥取南団地」で、家族向け用の住宅（2LDK）3戸を確保し、「子育て世帯向け住宅」としてスタートする予定でございます。
- 現在は、この「子育て世帯向け住宅」を提供するため、「市営住宅条例施行規則」を改正するためのパブリックコメントを実施中であり、出された意見を参考にしたうえで、11月の入居受付から実施したいと考えております。
- 今後は、幼稚園や小学校の近くにある市営住宅に空き家が生じた場合を含め、積極的な制度の運用を図っていくように考えているところでございます。

2. 「富貴紙パンフレット」の完成について

- 音別地域の地場産品である蔦の表皮を使用して作られた全国的にも珍しい手漉き和紙「富貴紙」（ふきがみ）を紹介するパンフレットが完成いたしました。

- 「富貴紙」は、現在、主に音別小・中学校の卒業証書として使用されており、また、市役所本庁舎1階に掲示しております「まちづくり基本条例」前文のパネルも「富貴紙」に書かれたものです。
- パンフレットには、「富貴紙」という名の由来である音別町に伝わる恋物語「音別コロポックル伝説」をはじめ、富貴紙の原料作りから漉き作業、出来上がりまでの製造工程などを紹介しています。
- 今後は、このパンフレットを活用しながら、貴重な地域資源である「富貴紙」の文化継承と普及促進に向けたPRに努め、特産品としての知名度を高めるとともに技術を伝承する人材の育成に努めていきたいと考えています。

3. 「公共政策フォーラム 2015in 釧路」の開催について

- この度、10月17日（土）、18日（日）の2日間の日程で、日本公共政策学会様と釧路市が主催で「公共政策フォーラム 2015in 釧路」を開催いたします。これは、釧路市が今進めている、調査・研究、ゼミ合宿誘致の取り組みをきっかけに開催が実現したものです。
- 17日の1日目は「学生による政策コンペ」を実施し、全国各地の19大学から25チーム約300名が集まり、「東京、大都市部から地方へ ひとの流れが地方を元気に、日本を元気に」をテーマに政策提言を行います。
- 政策提言に向け、現時点で4つのチームが市外から実際に釧路市まで足を運び、調査・研究を行い、長いところでは、2週間ほど釧路市に滞在して、調査を行ったと聞いております。
学生が、釧路市を題材とした調査・研究を若者目線で行い、政策提言という形で、その成果を釧路市に還元いただくことは、釧路市が持続可能な社会を築く上でとても貴重であり、また、有意義であると考えております。
- 18日の2日目は、地域活性化などに関する有識者をお招きし、「まちづくりフォーラム」を開催します。まちづくりフォーラムでは、まず、前日に開催した政策コンペ最優秀賞受賞ゼミのプレゼンテーションを行い、次に同志社大学大学院教授新川達郎（にいかわ たつろう）様による「人口減少時代の都市経営」と題した基調講演、そして「地域資源を生かした持続可能なまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションを行ないます。
- パネリストには、総務省大臣官房地域力創造審議官の原田淳志（はらだ あつし）様、株式会社・紡（つむぎ）代表取締役の玉沖仁美（たまおき ひとみ）様、釧路市顧問で北海道大学公共政策大学院特任教授の小磯修二（こいそ しゅうじ）様を

お招きいたします。

- 原田様は、私が道議時代に北海道の総務部長も務めておられ、当地にゆかりの深い方であります。まさに地方の元気創造に向け、中心となってご活躍中です。また、玉沖様は、地域資源を活かした地域産品や観光事業の開発などを手掛けられており、平成12年度の「活力あるまちづくり自治大臣賞」を受賞した、島根県海士町の「さざえカレー」の開発などで有名な方であります。
- 当日は、その方たちのほか、私自身もパネリストとなり、釧路市の取組を報告させていただくとともに、他のパネリストの皆さまからは地域活性化の具体的事例や実践についてお話しいただく予定であり、これからの釧路のまちづくりのあり方についてディスカッションできる、またとない大変有意義な機会になるものと考えております。
- この公共政策フォーラムは、どなたでも参加可能ですので、多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

4. 釧路市動物園開園40周年記念フェスティバルの開催について

- 市民の皆さんに親しまれ、支えられてきました釧路市動物園は、先日の10月1日に開園40周年を迎えました。
- 当初、釧路市動物園は、ホッキョクグマなどの北方系動物を集めた動物園として開園しましたが、ライオンやキリンなどの南方系の動物も飼育展示してほしいという多くの市民の声を受けて、熱帯の動物たちも仲間入りした経過がございます。また、園内に大型の遊具を導入し、釧路・根室地方 唯一の遊園地としても、釧路市内外の多くの子供たちに夢を与える場所となりました。こうした中で、動物園は、市民の皆さんから多くの支援をいただきながら運営して参りました。
- この度、開園40周年にあたり、10月10日（土）から12日（月・祝）までの3日間、市民と共に開園40周年を祝う記念フェスティバルを開催いたします。多くの企業様からも協賛いただいております、盛大に祝うフェスティバルとなります。
- 主なイベントとしましては、10月10日にオープニングセレモニーに引き続き、釧路市共栄小学校金管バンド同好会による演奏会の他、AKB48のメンバーお二人（うち、1名は別海町出身の川本紗矢（かわもと さや）さん）のトークや新曲のダンス指導イベント、11日には「動物仮装コンテスト」、「動物カラオケ大会」などがございます。
- 12日には「おもしろ動画コンテスト」の表彰式、市内のダンスチームによるダンス公演、そして、今年結成20周年を迎えたヒートボイスのスペシャルライブ、動物クイズ大会やわくわく抽選会を行います。

- 今回は多くの企業の協賛により、コンテストのほか抽選会にも豪華賞品をご用意しておりますので、ふるってご参加いただければと思っています。
- 詳しくはお手元のチラシをご覧ください。是非、大勢の方に来園いただき、開園40周年を盛大に祝って頂きたいと思っております。

3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 市営住宅の子育て世代の入居促進について、入居要件などがありますか。道内の自治体の状況はどのようになっていますか。道内で初めての例になりますか。

(住宅課課長補佐)

- ・ 入居要件がございます。道内の自治体の状況についてはお調べして、回答させていただきます。

(質問)

- ・ 関連ですが、入居世帯の子供の人数に制限はありますか。

(住宅課課長補佐)

- ・ 人数に制限はありません。一人であれば、その子供が小学校入学前から満18歳になった時点まで入居可能です。

(質問)

- ・ 将来的には何パーセントといった目標はありますか。

(市長)

- ・ 現段階では目標値は設定していません。将来的に、学校等の間口を検討する場合もそうですが、同様に、この地域では、どのくらいの子供の人数になるのかということをお教育委員会やこども保健部などとも連携しながら、近くにある市営住宅に追加することを検討していくことになると思います。

公営住宅法の中ではまず、所得要件がありその中に特定目的として車いす向け住宅を設けるといった運用がされてきました。今回、新たに特定目的住宅として子育て世帯向けの住宅の枠を3戸設けることになったものです。

(質問)

- ・ 子育て世帯向け住宅の枠組みを設けるに至った釧路市の背景は何ですか。市営住宅に空き家があるのでしょうか。空き家を減らしたいということなのでしょうか。

(市長)

- ・ 市営住宅入居期間の平均値は18年となっていますが、入居者の平均年齢は56歳となっています。若年者の世帯が入居しづらいといったこともありました。

市営住宅の長寿命化計画に基づいて5,700戸の住宅整備を行っていますが、空家の問題ではなく、市営住宅に様々な世代が入ることが、コミュニティーの存続のために重要だと考えております。

現在、5階建て市営住宅にはエレベーターがない状況ですから、上層階には若い

世代が入り、下層階には高齢世帯が入るといった工夫が必要だと考えます。

(質問)

- ・ 民間のアパートへの入居は家賃等が高く難しいという、子育て世代への応援の意味もあるのでしょうか。経済的な支援としての要素が大きいのでしょうか。

(市長)

- ・ もちろん、その意味もあります。市営住宅における自治会の運営やコミュニティーの継続、子育て支援といった様々な要素があって進めているものです。

(質問)

- ・ 富貴紙のパンフレットの印刷部数とサイズを教えてください。富貴紙を実際作っている業者はどのくらいいますか。

(音別町地域振興課課長)

- ・ 5000部、A4三つ折りサイズです。作っている業者はありません。

(市長)

- ・ 現在2名の技術者が音別地域にいるのみなので、技術の伝承を目指しています。

(質問)

- ・ 商品化されているのでしょうか。作りたい方はどのようにしたらよいですか。

(音別町地域振興課課長)

- ・ 卒業証書は音別小中学校の卒業証書として現在も使われています。旧音別町時代に販売していましたが、技術者がいないことがあり現在は販売していません。まずは、富貴紙づくりを体験していただいて、人材育成を目指しているところです。

(市長)

- ・ 露で作っている和紙は世界にここだけです。現在、2名しか技術者がいませんので、普及を図り技術を伝承し様々な場面で利用していくことを考えています。

(質問)

- ・ 露は食用の露を使うのですか。

(音別町地域振興課課長)

- ・ 食用の露の加工の際にでる皮を利用しています。6,000トン廃棄されていましたが、これにパルプが含まれることがわかったので、活用できないかと開発されました。

(質問)

- ・ TPPの大筋合意について、釧路市ではどのように受け止めていますか。また、庁内に対策本部などは設置されますか。

(市長)

- ・ 基本的にまだ情報収集している段階です。北海道は対策本部を設置され職員を農林水産省に派遣し情報収集に努めているとのことなので、それらの情報を得ながら、しっかりと内容を確認していく必要があります。

(質問)

- ・ 円山動物園の飼育動物の死亡事故が多発している件を踏まえ、釧路市動物園も総点検や確認などを実施されますか。

(市長)

- ・ まずは、何故、円山動物園で死亡事故が多発しているのかの原因を確認することが大切だと考えます。そして、自分のところに置き換えて比較してみる必要があると考えます。

(質問)

- ・ 釧路市まちづくり基本条例が施行されましたが、市長のねらいや期待を改めて聞かせてください。

(市長)

- ・ 団体自治と住民自治のバランス、一体となった取り組みが必要だと考えています。議会、市民、行政が一体となった様々な取り組みを進めていけるようにしたいと考えます。情報提供をしながら、そして連携しながら進める、これが住民自治だと考えます。

(質問)

- ・ 北海道新幹線の開業について、函館市が釧路大漁どんぱくにPRに来られていました。新幹線の開業に併せて、道央に観光客を呼び込むための2次交通の関係で釧路市として道南との連携についてお考えがありますか。

(市長)

- ・ 道東への既存交通のアクセスがまだまだ弱いと感じています。HACやJRもありますが、まだ十分ではありません。釧路市単独で広い北海道の交通アクセスが整備できる話でもなく、新幹線の効果も道内全体に寄与するものでありますことから、北海道庁の方にも一緒に考えていただきたいし、市としても相談やお願いをしながら進めていかななくてはならないと考えます。

(質問)

- ・ 根室中標津空港に、先だってチャーター便がありました。チャーター便誘致などの話は釧路空港で進んでいますか。

(市長)

- ・ 東北海道の釧路、女満別、帯広、中標津、紋別の5空港の連携は進んでいます。帯広市米沢市長、網走市水谷市長との話の中で、台湾ツアーの話もそうですが、東北海道の枠で様々に行っていこうと、すでに動いています。基本は道東5空港ですが、できることは3空港からでもやりましょうということになっています。